

1 単元名 Unit 6 What would you like ? (New Horizon Elementary English Course 5)

2 単元の目標

「我が町地産地消フェスタ」においてお客様をもてなすために、ていねいな表現を使って注文をしたり会計したりすることなどについて、短い話を聞いてその概要が分かたり、伝え合ったりすることができる。また、アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。

※なお、本単元における「読むこと」「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	【知識】 What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen. およびその関連語句などについて理解している。 【技能】 ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて聞き取る技能を身に付けている。	相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文を受けたり、会計したりすることなどについて、短い話の概要を捉えている。	相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文を受けたり、会計したりすることなどについて、短い話の概要を捉えようとしている。
話すこと「やり取り」	【知識】 What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen. およびその関連語句などについて理解している。 【技能】 ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen. およびその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	「我が町地産地消フェスタ」においてお客様をもてなすために、料理や注文、値段などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどをていねいな言い方で尋ねたり答えたりして伝え合っている。	「我が町地産地消フェスタ」においてお客様をもてなすために、料理や注文、値段などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどをていねいな言い方で尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、2学期大単元「地域のことを紹介しよう」の最後の単元である。食に関わる場面において、ていねいな表現を使って注文したり、それに答えたりすること、値段を聞いたり答えたりすることをねらいとしている。4年生の外国語活動で学習した、相手の欲しいものを聞き合う活動を発展させた活動でもある。地域の良さや特色を題材として、実際のコミュニケーションの場面でも活用される表現、相手や場面に応じたやり取りを意識させる内容である。

(2) 児童の実態（在籍*名）

児童はこれまでに、英語を用いて自分のことや身近な人について紹介する活動をしてきた。日頃の観察から本学級の児童は、積極的に発言をする児童がいる一方、サポートがないと学習が難しい児童も見られる。児童の外国語学習についての調査結果は以下の通りである。

【実態調査】(*名 令和5年*月*日実施)

	調査内容	回答(*月)	回答(*月)
①	英語を用いてやり取りすることが楽しくできますか。	・はい —*人 ・いいえ—*人	・はい —*人 ・いいえ—*人
②	単元のねらい・ゴールを意識して学習していますか。	・はい —*人 ・いいえ—*人	・はい —*人 ・いいえ—*人

③	単元の最後には何ができるようになっていたいですか。 (単元計画に自由記述) (調査実施日*月*日)	・英語を使って店員と客のやり取りをすること—*人 ・商品の良さや材料を英語でアピールすること—*人 ・お客さんの希望を聞き取ること—*人 ・店員のようにやさしく応対すること—*人 ・値段を尋ねたり交渉したりすること—*人
④	言語活動（やり取りや発表）の際に困ったことがありますか。	・はい—*人 ・いいえ—*人
	「ある」と答えた人はどんなことですか。	・話が広がらない—*人 ・質問が浮かんでも英語で言えない—*人 ・質問や答え方が浮かばない—*人 ・相手がとまってしまっている—*人 ・同じことばかり聞いてしまう—*人
⑤	使ってみたい表現（にわとり Q シート）を活用していますか。	・活用している—*人 ・あまり活用していない—*人
	使っていない理由は何ですか。	・読めない—*人 ・対話中にもっていない—*人
⑥	食材や味を示す語句を英語で言えますか。ピクチャディクショナリー内	・全て正しく言える—*人 ・半分は言える—*人 ・言えない語句がほとんどである—*人

英語を用いてのやり取りに課題がある児童が多いという 6 月の実態をふまえ、うなずきや返答などを意識した Small Talk の活動を継続したり、身に付けさせたい表現を音声にして、個別練習をしたりしてきた。その結果、英語を用いて自分の思いや考えをやり取りすることへの抵抗が少なくなっていることが*月の実態調査から分かる。また、単元の始めに「自分がこの単元を通して何ができるようになりたいか」を書き残す活動を継続してきたところ、上記のように、学ぶ目的を意識して学習に臨む児童が増えた。その反面、実際英語を使ってやり取りや発表をしてみると、話が広がらないなどの課題を感じていることが分かった。児童の学習中の様子を観察していると、アイコンタクトやスマイル、対話をうながすなど態度面での向上は見られる。しかし、学習中の単元における基本的な言語材料の慣れ親しみだけでは不十分で、そこから広がる話題や質問内容などに既習知識を活用する力、相手の質問や気持ちに対応した発言など場面や状況に応じる力に課題が見られる。そこで、単元末の言語活動を見据え、児童の中においてきた知りたい表現を記録するシート「にわとり Q シート」を作成し、本物の考えや気持ちで言語活動が展開されるよう手立てを講じてきたが、活用している児童が少ない実態がある。

(3) 指導観

児童の実態をふまえ、本単元では、「我が町地産地消フェスタにおいてお客様をもてなそう」というゴール時の言語活動を設定する。本校では学年行事として収穫したお米を用いての親子フェスタが計画されている。そのフェスタにおいて、地元の食材を用いたオリジナルメニューを考案しお世話になった方々や保護者の皆様をもてなすという目的のもと、まず客と店員として商品のやり取りを行う「なりきりフェスタ」を開き互いの考えや気持ちを伝え合う。その後お世話になった地域の方々や保護者に喜んでもらえるよう、自分のメニューの良さをアピールするとともに、単元のねらいであるていねいな表現でのやり取りを体験できるようにする。こうすることで、児童の考えや気持ちによる相手意識をもった本物の活動へとつなげる。

指導に当たっては、単元はじめに 0 時を設け、対話モデルを示しながら、客と店員という立場でのやり取り、目上の方への提案という場面・状況には、丁寧な表現や対応が必要であることに気付かせ、単元を通して意識させる。また、地元の良さに気付かせたり、他教科との関連を図ったりしながら、児童のもっと知りたい、この表現を使いたい、といった言語内容の充実を図っていく。インプットからアウトプットへの段階的な指導の中で、相手や場面、状況に合わせたよりよい表現や話題内容、対応の仕方について随時問いを発信し考え合わせることで、児童の発話力を確かなものとし、言語活動への有用感を育てたい。

その際、ICT 端末の効果的・効率的な活用が有効であることから、地域の食材を使い八千代町のよさを生かした商品作りには、児童が使い慣れているロイロノートを活用する。テキストに音声や動画を重ねたり、商品のよさやメニュー表、価格表にはシンキングツールを用いたりすることも考えられる。0 時からの単元計画のデジタル化に加え、児童と共有する CAN-DO リストもデジタル

化して毎時ねらいを確認しやすくする。知りたい表現を蓄積する「にわとり Q シート」は音声化して単元計画に貼り付け、すぐに使えるように改善する。さらに、各自の知りたい表現を集約し音声ツールとして単元計画上に紐付けし、指導者のモデル映像と共に個別練習ができるようにする。また、練習した自分の音声や動画も貼り付け、見直しや修正をしたり、提出して助言をもらったりすることで、よりよく高めていく手立てとする。これら個別の学習形態のみならず、友達のグッドモデルや工夫点などを共有する場面においても ICT を活用し、友達の学びを自分の学びにしていって学習改善を促すと共に、指導者側の指導改善にも生かしていく。

5 「CAN-DO リスト」形式の学習到達度目標との関連（太枠は本時と関連しているもの）

	聞くこと	読むこと	話すこと[やりとり]	話すこと [発表]	書くこと
ア	ゆっくりはっきりと話されれば、イラストや写真などの情報を手がかりにするなどして、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	活字体で書かれた文字を識別し、名前の綴りや身の回りの物に記されている大文字や小文字を見て、その名称を発音することができる。	基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたり断ったりすることができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、写真やイラストを見せながら話すことができる。	アルファベットの活字体の大文字・小文字を高さに気を付けて正確に4線上に書くことができる。
イ	ゆっくりはっきりと話されれば、イラストや写真などの情報を手がかりにするなどして、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。	掲示物、パンフレット、絵本などの言語外情報を伴って示された語句や表現を推測して読み、その意味が分かる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	自分のことについて伝えようとする内容を選択したり、伝える順番を決めたりするなど整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、語順を意識しながら、語と語の区切りに気を付けて書き写すことができる。
ウ	ゆっくりはっきりと話されれば、イラストや写真などの情報を手がかりにするなどして、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。		自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を選択したり、伝える順番を決めたりするなど整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	

6 指導と評価の計画

(○：評定に用いる評価 ●：学習改善につなげる評価)

時	ねらい (■)・主な学習活動 (○)・☆ ICT	知	思	態	評価規準【評価方法】
1	■ 単元のめあてをつかみ、ゴール時の自分の姿を描くことができる。 ・ゴール時の言語活動のモデルを複数見せることで、単元の見通しをもつ。 ■ 味やデザートと言いかたを知り、注文や会計のやり取りのおおよその内容を理解する。 ○ Song & Chant ○ Small Talk : Food ○ Words : デザート・味 ○ Starting Out ○ Sounds & Letters ☆ Unit Plan、CAN-DO リスト Picture Dictionary、Sounds & Letters にわとり Q シート			●	単元のめあて・ゴール時の言語活動を把握し、見通しをもつことができる。 【行動観察・Unit Plan 記述点検】
2	■ 食べ物や飲み物、味の言いかたに慣れ親しみ、世界の名物料理や外来語について聞き取ることができる。 ○ Song & Chant ○ Small Talk : Favorite food ○ Words : 食べ物・飲み物・味 ○ Words Game ○ Watch & Think、外来語のルーツ ○ Sounds & Letters ☆ Unit Plan、Picture Dictionary、Sounds & Letters、にわとり Q シート	●			まとまった英文を聞き、おおよその内容を理解することができる。 【記述点検】
3	■ 食べたい料理について丁寧な言いかたで注文し合うことができる。 ○ Song & Chant ○ Small Talk : Drink ○ Words : 数 ○ Listening ○ Interview ・食べたい料理について友達と尋ね合う。 ○ Sounds & Letters ☆ Unit Plan、CAN-DO リスト Picture Dictionary、音声 Tools、Sounds & Letters、にわとり Q シート	●			食べたい料理について、友達と尋ね合うことができる。 【行動観察】
4	■ 注文した料理の会計のやり取りができる。 ○ Song & Chant ○ Small Talk : Price ○ Words : 値段 ○ Listening + Plus 1 Question ○ Interview ・注文した料理の会計のやり取りをする。 ○ Writing : () yen plus () yen is ~. ☆ Unit Plan、Picture Dictionary、音声 Tools、Writing Tools にわとり Q シート	○		●	注文した料理の会計を聞いて、内容を理解することができる。 【記述点検】 注文した料理について会計のやり取りをすることができる。 【行動観察】

5	■ 自分がおすすめしたい料理を考え、「我が町地産地消フェスタ」の準備ができる。 ○ Do you know? 外国の料理や食事習慣を知り、相違点や類似点を考える。 ○ Preparation ・タブレットを用いて八千代町の食材を用いたメニューを作って、おすすめする言い方を練習する。 ・伝える内容や表現の仕方を工夫する。 ○ Practice ・ペアで店員と客になり、やり取りをして、互いにアドバイスをする。 ・自分達のやり取りを録画し、修正をする。 ☆ Unit Plan、CAN-DO リスト、音声 model、音声 Tools、talk movie にわとり Q シート		○	○	自分の伝えたい内容を整理したり修正したりして、よりよいやり取りができるようにする。よりよいやり取りができるように、自分の伝えたい内容を整理したり、修正したりしている。 【動画分析・行動観察】
6 本 時	■ 「我が町地産地消フェスタ」においてお客様をもてなすために、料理や注文、値段などについてやり取りをすることができる。（「なりきりフェスタ」） ○ Song & Chant ○ Small Talk : Recommendation ○ Activity 「なりきりフェスタ」 ・店員と客の立場になりきり、ていねいに注文をしたり、会計をしたりする。 ☆ Unit Plan、CAN-DO リスト、提出 box、にわとり Q シート		○	○	「我が町地産地消フェスタ」においてお客様をもてなすために料理や注文、値段などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどをていねいな言い方で尋ねたり答えたりして伝え合っている。また、伝え合おうとしている。 【動画分析・行動観察】 ※授業中は、指導に生かす評価を捉え、中間指導や助言に生かす。授業動画で記録に残す評価を捉える。ただし、前時までの評価からの変容を加味する。
7	■ 「なりきりフェスタ」をもとに、「我が町地産地消フェスタ」においてお客様をもてなす準備をすることができる。 ○ Small Talk : Recommendation 2 ○ Watching the movies each other 「なりきりフェスタ」の動画を見て振り返り、よりよくなるよう助言し合う。 ○ Sounds and Letters & Writing ○ Book 絵本の読み聞かせを聞く ☆ Unit Plan、Movie、Sounds and Letters 提出 box、にわとり Q シート、Book	●			【動画分析・記述点検】 ※指導に生かす評価は行わないが、児童の行動を観察し、修正する様子を把握し、指導や単元末の評価に加味する。
8	■ 「我が町地産地消フェスタ」において、お客様をオリジナルメニューでもてなすことができる。（*月*日） ○ Song & Chant ○ Activity 店員役になってお客様をもてなしたり、客役になって、お客様の補助をしたりする。フェスタの最後には、お客様から感想をいただく。		○	○	お客様にオリジナルメニューについてよりよく伝わるように、そしてフェスタを楽しんでもらえるように、料理や注文、値段などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどをていねいな言い方で尋ねたり答えたりして伝え合っている。また、伝え合おうとしている。

☆ Unit Plan、CAN-DO リスト				【動画分析・Unit Plan 記述点検】 ※『話すこと』の評価については、学期末のパフォーマンステストにて条件を一定にそろえて再度見取り、総合的に判断する。
------------------------	--	--	--	--

6 本時の指導

- (1) 目標 「我が町地産地消フェスタ」においてお客様をもてなすために、料理や注文、値段などについてやり取りをすることができる。(「なりきりフェスタ」)
- (2) 準備 指導者用デジタルブック、タブレット端末、4線ボード、お金の模型、町の地図
- (3) 展開

学習過程	学習活動・内容		指導の手立て・評価 ☆ ICT 端末の活用
	児 童	T1・ALT	
Greeting < 3 分 >	1. 日直児童主導で挨拶をする。 ・先生や日直と話す。	Day/Date/Weather/Time ・日直児童に投げかける。 What food do you like? (A)	・児童主導ではじめる。 ・曜日や日付の単語を選ぶ。 ・既習の表現を用いて簡単な対話活動をする。
Unit Goal Today's Goal < 1 分 >	2. 単元及び本時のめあてを確認する。	Check Unit&Today's Goal ・児童とめあてを共有する。(両)	・単元を通しためあてと本時のめあての両方を確認することで、ねらいに向かって学びが進んできたことを実感させる。 ☆デジタル化した Unit Plan に CAN-DO リストを紐付けしておき、スムーズにめあてやつけたい力を確認できるようにしておく。
Song & Chant < 2 分 >	U: ていねいに注文したり、値段を尋ねたりしよう。 T: 「我が町地産地消フェスタ」においてお客様をもてなすために、料理や注文、値段などについてやり取りをしよう。(「なりきりフェスタ」)	・児童の表情を見ながら一緒に歌う。(両)	・本時の言語活動で用いる言語材料の中から児童の習得が不十分な言語材料を選びトークをする。 ・習得が不十分とみられる言語材料をじゃんけんに取り入れることで、口慣らしができるようにする。
Small Talk < 5 分 > ・ Model ・ Try	3. リズムののって歌やチャンツを楽しむ。 4. モデル talk を聞いて、どんな話題なのかに気付く。 Topic: My recommendation	・ Watch our talk. (T1) ・ What kind of talk ? (A)	・ Bad model を見せ、改善点を思考させる。 ・ Good model も見せることで、よりよいやり取りとなるポイントを出し合えるようにする。
Activity < 25 分 > ・ Model ・ Practice	5. 「なりきりフェスタ」を開く。 ・モデルを見て good point を確認し合う。 ・ 前時までの各自の動画などを用いて、練習をする。	・ Watch our talk. (T1) ・ How was our talk ? (A) ・ Watch the new model. (T1) ・ How was this talk ? What's the good point ? (A) ・ 各自の疑問に答える。(両) ・ Please use 「Niwatori Q Sheet」. (A)	☆これまで蓄積した動画や音声を用いて、修正したり、発話の練習をしたりする時間を取り、自信をもって活動に入ることができるようにする。
・ Activity 1	・ 店員と客になり、やり取り	・ Prepare your Food Stand. (T1)	・ あらかじめ役割を提示しておき、スムーズに移動を促す。

	をする。	Customer & Shop staff	☆ ICT 端末（ロイロノート生徒間通信機能）を使って商品の受け渡しをさせる。 ・ 目的を再度確認し、場面・状況に合わせた対応や相手に伝わりやすい表現や工夫について意見を出し合う時間をとる。 ☆児童の Good model を提示し、具体的な good ポイントを確認するとともに、よりよいやり取りに向けて挑戦する意欲を促す。
・ Power up Time	・ よりよい活動にするための気付きを共有する。	・ Watch this ! (T1) 中間指導をする。(両)	
		目的の確認 場面・状況による内容や対応の工夫 ・ Question ・ 商品のよさの説明 ・ 繰り返して確認	
・ Activity 2 Sharing < 5 分 >	・ 再度挑戦する。 ・ 本時の活動を共有し合う。 ・ Unit Plan に料理などを貼り付ける。	・ Try again. (T1) ・ Show us your information. (A) ・ Good job ! (両) ・ Paste on the Unit Plan.	・ 数名の児童に買い物をした情報や商品のよさを発表させる。 ☆ Unit Plan にやり取りで得た友達料理やその情報を貼り付けることで、互いの考えや気持ちなどを伝え合えた達成感を味わえるようにする。
		⑩ 「我が町地産地消フェスタ」においてお客様をもてなすために、料理や注文、値段などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどをていねいな言い方で尋ねたり答えたりして伝え合っている。 思（動画分析・行動観察） 「我が町地産地消フェスタ」においてお客様をもてなすために、料理や注文、値段などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどをていねいな言い方で尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 主（動画分析・行動観察）	
Reflection < 3 分 >	・ 本時の活動を振り返り、Unit Plan に記入する。 ・ CAN-DO リストで自己評価をする。 ・ 端末上で提出をする。	・ How was Today's activity ? (A) ・ Please write your reflection . ・ Niwatori Q Sheet, too. (T)	・ 児童に振り返りや新たに知りたい点を発表させ共有し、次時の活動への意欲を促す。 ・ CAN-DO リストの評価も含め、児童を称賛する。 ☆ ICT 端末（ロイロノートの提出 box）で Unit Plan やにわとり Q シートを提出させ、児童の疑問点に答えたり、指導や評価に生かしたりする。
Closing < 1 分 >	・ 日直児童主導で挨拶をする。		